



# “学びの森”だより

## 餃子の皮 神対応



スーパーに買い物に行ったときのことで。頼まれたのは、餃子の皮でした。店に着き、食材がありそうな場所に行き、探しましたが見当たりません。そこで、そのそばにいた若い男性の店員さんに尋ねました。「モンブランはどこにありますか？」店員さんは、きょとんとした顔をしています。分からないような雰囲気に見えました。（後で考えれば当然のことですが）たまたまモランボンを知らないだけなのかと思いました。時間がなかったので、「餃子の皮の『モンブラン』なんです。」と再度伝えました。

すると、にこっと微笑み、「はい分かりました。お肉の近くにありますよ。」と私を案内してくれたのです。なるほど、餃子と言えば挽肉、その近くにセットにして置いてあるんだ。さすがです。「ありがとうございます。」「いいえ、どういたしまして。」と、またまた笑顔に向けてくれました。なんとも気持ちのいい買い物になりました。3袋おもむろにつかみ、そのままレジに向かいました。

用を済ませ家に帰り、「買って来たよ、モンブラン」と言うと「えっ、モンブランを買ってきたの、違うよ、私は、餃子の皮を頼んだのに。」と、あきれた顔をされました。そこで、「ほらこれだよ。」と、買って来た餃子の皮を得意げに見せると、「それは、モランボン、モンブランは栗のスイーツ。」「えっ。」何という恥ずかしいことを店員さんに言ってしまったことか。頼まれたとき、聞き間違いをしていたのです。餃子の皮にもモンブランがあるんだと勝手に思いこんでしまったのです。確かに、何か変だなと気にはなっていたのですが。山好きの私にとっては「ヨーロッパアルプスのモンブラン」が頭にぴんときてしまったのです。アルプスの雪のような純白な皮：モンブラン、餃子の皮にふさわしいネーミングだと、思い込んでしまったのです。いや、まてよ。もしかして、あの店員さんも、モンブランと思っていたかもしれない・・・「ムオンブラ〜ン」と、巻き舌風に言えば、すぐにわかってもらえたかもしれません。きっと発音が悪かったのでしょう。何の疑いもなく、にこにこして答えてくれていたのですから。どこまでも勝手な想像をしている自分が怖くなってきました。あきれてきました。

それにしても、何で言ってくれなかったのかと思いました。私がまた失敗しないためにも、小声で言ってくれてもよかったのに。しかし、きっと、ほかのお客さんもいることだし、言えばこの人が恥ずかしい思いをすると、察したのかもしれない。それとも、急いでいるようなので、あえて、「それは間違っていますよ。」とは言わず、用件がかなうことを優先した対応なのか。いずれにしても、あの温かみのある笑顔に救われました。今でも、真相は分かりませんが、これは神対応かと信じています。

こんなドジなことは、私だけかもしれません。しかし、「勘違い」ってありますよね。（「あなただけです。」と言われそうですが。）学校でも、職員室でも教室でも、勘違いってあり

ますよね。そんなときどんな対応をすればいいのか。もちろん、きちんと伝えることも大切です。相手の立場を傷つけないようにする気遣いができれば、さらに最高ですよね。勉強になりました。

もうひとつ、先日ホームセンターに、石を買いに出かけた時です。大き目の石を、キャストに置き、庭に置くイメージを考えていました。空を仰ぎ、「う〜ん。」と、つぶやいた時でした。同じようにキャストを押す人が、その場に立っていました。通路を私のキャストが塞いでいたのです。「ごめんなさい、邪魔してますよね。すぐ動かします。」と、言う。「気にしないでください。考えながらやっているんですよね。ごゆっくりどうぞ。」と言って、ニコニコして待っていてくれました。「すみません。」と言いつつ、石の数を計算し、キャストに乗せ、移動しました。そのかたは、「大丈夫ですか？」と私に尋ね、過ぎ去っていきました。そして、自分のお目当てのところで、品定めをし始めていました。これもまた神対応と思えました。

授業でもそうですが、相手の気持ち、心のひだを読むセンサーを磨くことが、いかに大切かと、改めて感じました。そして、品のある方は、心に余裕を持っていることに気付かされました。振り返れば、私は、なんとせわしない過ごし方をしていたことかと。

(文責 松山充彦指導員)



〈参考までに〉

### モンブラン (スウィーツ)

ヨーロッパアルプスの最高峰モンブラン (4807m)

モンブランはフランス語で、白い山です。その白いきれいな山に見立てて、フランスやイタリアで、栗のクリームで作った家庭菓子をモンブランと呼んでいたのが始まりだそうです。

### モランボン (餃子の皮)

北朝鮮の平壤近くの小高い山 (牡丹峰 : 95m)

日本に渡ってきた朝鮮の兄弟が、故郷の味を懐かしみ、ふるさとの山 : モランボンの名前を会社名にしたのが始まりだそうです。

どちらも、山にあやかった名前だったのですね。だから間違えたっていい・・・違う違う。

2月28日(水) 15時から東中にて、国立教育政策研究所の講師による「魅力ある学校づくり」についての講義が開催予定です。  
是非ご参加ください。申し込みは、各校の生徒指導担当まで。



「学びの森リーフレット」もご活用ください。

学びの森 HP (<https://www10.schoolweb.ne.jp/weblog/data/2240002>)

☆配布文書→その他→学びの森リーフレット「授業の物語」

編集・発行 : 「学びの森」

〒410-1102 裾野市深良 435 番地

TEL : 055-995-4903

FAX : 055-995-4904

